

# 先発品と効能又は効果、用法及び用量が異なる製品

日新製薬株式会社

■フェブキソスタット錠 10mg・20mg・40mg 「日新」

■フェブキソスタット OD 錠 10mg・20mg・40mg 「日新」

一般名：フェブキソスタット

規格：フェブキソスタットとして 10mg/1 錠・20mg/1 錠・40mg/1 錠

下線部：相違点

	自社品（通常錠・OD 錠共通）	先発品（フェブリク錠 10mg・20mg・40mg）
効能又は効果	<p>【相違なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○痛風、高尿酸血症</li> <li>○がん化学療法に伴う高尿酸血症</li> </ul>	
用法及び用量	<p>〈痛風、高尿酸血症〉</p> <p>通常、成人にはフェブキソスタットとして 1 日 10mg より開始し、1 日 1 回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常 1 日 1 回 40mg で、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は 1 日 1 回 60mg とする。</p> <p>〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉</p> <p>通常、成人にはフェブキソスタットとして 60mg を 1 日 1 回経口投与する。</p>	<p>〈痛風、高尿酸血症〉</p> <p><u>成人</u></p> <p>通常、成人にはフェブキソスタットとして 1 日 10mg より開始し、1 日 1 回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常 1 日 1 回 40mg で、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は 1 日 1 回 60mg とする。</p> <p><u>小児</u></p> <p>通常、小児には体重に応じてフェブキソスタットとして下記の投与量を 1 日 1 回経口投与する。</p> <p><u>体重 40kg 未満：通常、1 日 5mg より開始し、1 日 1 回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常 1 日 1 回 20mg で、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は 1 日 1 回 30mg とする。</u></p> <p><u>体重 40kg 以上：通常、1 日 10mg より開始し、1 日 1 回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常 1 日 1 回 40mg で、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は 1 日 1 回 60mg とする。</u></p> <p>〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉</p> <p>通常、成人にはフェブキソスタットとして 60mg を 1 日 1 回経口投与する。</p>

2023 年 12 月